

宮本たかし 県政 NEWS

2012夏号

Vol.11

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話
ファックス **0778-22-6633**



宮本たかしからのご挨拶

暑中 御見舞 申し上げます。

本当に暑い夏となっていますが、皆様 お変りなく、お過ごしでしょうか。

日頃の私の政治活動に対しましてはひとかたぬらぬ御尽力を賜っており、心より感謝申し上げます。

また、各地で異常気象が続き、地元越前市においても大滝地区、味真野地区にて洪水による大きな被害が発生してしまいました。被災された方々には、心より御見舞申し上げ、一日も早い復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

さて、この夏はスポーツ関係の催しが盛りだくさんとなっています。御存知の通り、フェンシングの中野選手もロンドンオリンピックの開会式にて元気な入場行進を見せてくれました。本市においても市民体育祭と県民スポーツ祭が並行して行われており、私も体協の役員や競技団体の会長として各地会場にお邪魔し、暑い中でも元気に試合をされている選手の皆様に大きな力を頂いております。

平成30年には福井県にて2回目の国体も予定されています。スポーツの感動を味わって頂けるよう、私も大会の成功の為、汗をかく所存であります。

平成24年7月28日

宮本 俊

〈県政メモその6 ～平成24年度補正予算及び災害対策専決予算について〉

7月9日、福井県議会6月議会が閉会、6月補正予算が可決いたしました。予算規模は総額で35億円で、これにより平成24年度の予算総額は4,804億円(対前年比4.2%減)となりました。

単位：百万円、%

会 計	24 年度			23 年度 6 月現計②	増減 (①－②)③	伸び率 (③／②)
	既決予算	6 月補正	6 月現計①			
一般会計	476,882	3,542	480,424	501,347	△20,923	△4.2
特別会計	13,071		13,071	14,112	△1,041	△7.4
企業会計	30,364		30,364	28,931	1,433	5.0
計	520,317	3,542	523,859	544,390	△20,531	△3.8

内容的に主なものは（単位：千円）

○春季強風による被災施設の復旧

災害復旧事業：2,940,569

24年4月の大型低気圧の風浪により被災した公共施設の復旧工事を行います。

箇所名	被災状況	箇所名	被災状況
福井港(離岸堤等)	消波ブロック散乱	越前漁港(防波堤)	防波堤転倒等
鷹巣港(防波堤)	消波ブロック散乱	柴崎漁港(防波堤等)	防波堤損壊
敦賀港(防波堤)	ケーソンの移動	生活学習館	屋根破損
和田港(離岸堤等)	離岸堤損壊等		

港を中心に消波ブロックが散乱してしまうほどの強い風により大きな被害が出たようです。漁家の方々には操業に影響が出ていないか心配です。

○県都まちづくりの推進

福井駅付近連続立体交差事業：136,632

福井駅西口中央地区市街地再開発支援事業：36,150

福井駅周辺土地区画整理支援事業：232,478

越前市民の皆様には大きな関心事とはなっていないのが現状だとは思いますが、NHKの入居が白紙となり再開事業の成功が危ぶまれた訳ですが、新しい計画の下、いよいよ動き出したようです。やはり、福井駅前が県都福井市の顔として県外からの人が感心できるような再開発を行ってほしいものです。

○経済・雇用対策の充実

セーフティーネット資金の要件緩和：－

「直近3カ月の売上減少が前年同期比3%以上の中小企業者」から「原発の運転停止の影響により今後3カ月の売上が3%以上、減少が見込まれる中小企業」へ緩和

嶺南地域緊急雇用創出事業：196,238

企業誘致促進策の充実：制度創設

日本全体の不景気な状況に上乗せで嶺南地域の経済は疲弊している状況です。このような経済対策はタイミングが命。広報の充実と審査業務の迅速化が望まれます。



～7月災害対応専決予算について～

福井県は7月20日、21日に越前市で発生した局地的大雨による災害対策費として3億円の予算を専決処分しました。内容は○越前和紙産地の復旧に向けた支援 ○被災した中小企業等に対する資金繰りの支援、また、既決予算での対応として○公共施設等の災害復旧 ○県税、手数料の減免等 ○災害ボランティアの活動支援があげられています。

専決処分(予算)とは：

地方自治法179条、180条に規定され、通常、原則的に全ての予算の決定については議会の承認が必要となります。しかし、議会を招集して議決を待つまでの時間的余裕が明らかないと認められる場合（他にも法律上の規定はあります）、知事が判断し予算を執行し議会には事後報告をすればよいことになっています。

このような予算は経済対策予算にも増して緊急な対応が迫られるものだと考えています。その意味で専決での処分は妥当であり、1日も早く、この予算が被災地の為に有効利用されることを祈っています。



郷土の星!!

フェンシング女子エペ
オリンピック代表

中野 希望選手

6月12日。フェンシング女子エペ、オリンピック代表の中野希望選手が忙しい日程をぬって越前市に帰りその抱負を語ってくれました。

当日は分刻みのスケジュールの中、県庁やマスコミ各種を訪問、代表決定に至る戦績や経緯について報告の後、地元越前市で開催された激励会、および激励パーティーに出席いたしました。県フェンシング協会会長として私も同行していましたが、どこへ言っても物おじせずはきはきと自分の考えを表現する姿はさすがトップアスリートでした。前回の北京オリンピックに出場できず涙を飲んだ中野選手ですが、4年後を見据え、夢をあきらめず努力し、今回の栄冠を勝ち得たことは私にとってもそれはそれは学ぶべきものが多くありました。20代前半の女性です。他にもやりたいことがいっぱいあったらう中で、ほぼフェンシング漬けの4年間を過ごした中野選手はほんとうに尊敬できる選手であると実感しました。

また、試合当日の7月30日には中野選手の地元、国高地区の人たちが中心となって「中野選手応援の集い」が開催され参加した人たちは大変な熱気の中、ロンドンへ届けと応援を送っていました。残念ながら、初戦敗退となってしまいましたが、格上の相手に堂々とした戦いぶりは見ている人に大きな感動を与えてくれました。

また、試合当日の7月30日には中野選手の地元、国高地区の人たちが中心となって「中野選手応援の集い」が開催され参加した人たちは大変な熱気の中、ロンドンへ届けと応援を送っていました。残念ながら、初戦敗退となってしまいましたが、格上の相手に堂々とした戦いぶりは見ている人に大きな感動を与えてくれました。



▲県庁にて(6/13 日刊県民福井)



▲記者会見



▲熱気あふれる応援の集い



▲激励会での花束贈呈



宮本たかしダイアリー



1月22日。冬季市民体育祭としてスキー競技が行われました。



1月28日。越前市と市体操協会のタイアップで「夢ある子供育成事業」の一環として、SASUKEでも有名な池谷直樹氏が招かれ体操教室が開催されました。



4月23日。越前市スポーツ少年団の平成24年度の総会が青年センターにて開催されました。総会に先立ち、長年にわたってスポ少を指導して頂いた優秀指導者の方々への表彰があり、私の方から表彰状をお渡しいたしました。

4月24日。越前環境認証機構、いわゆるESえちぜんの平成24年度総会が開催され、私もISO14001審査員だということから理事として参加いたしました。



6月13日。恒例の地元上総社のおみこしを担ぎました。



7月4日。久々に元同期の先生たちと



5月25日。自治体総合フェアに出席、茨城県河内町町長の野高貴雄氏のお話を伺いました。

7月28日。第二期ふくい政経アカデミーの受講生として元世界チャンプの清水智信氏が参加、決意のほどを述べられました。

